



# 那須塩原・リンツ

## 赤ちゃんの象がコロナに挑戦



リンツ市で赤ちゃんの象が活躍  
©LINZ AG/fotokerschi

オーストリアでも、新型コロナウイルスが流行しています。4月中旬以降、感染が落ち着いていましたが、9月下旬には、毎日約600人以上の感染が確認されています。9月30日現在で計44,813人が感染（うち約80%の35,644人が治りました）してしまいました。

オーストリアのコロナウイルス対策は、日本みたいに、手洗いやマスク着用などがあります。

日本のソーシャルディスタンスの距離は2mですが、国の違いもあり、オーストリアは1mです。その距離の意識を高めるために、オーストリアの政治家が「赤ちゃんの象一頭分の距離」と表

現しました。日本みたいに、あまりかわいいゆるキャラをつくる習慣がないオーストリア人は、まじめな政治家がその発表をしたので、驚きました。好き嫌いがあるらしいですが、だからこそ記憶に残ります。日本での距離を保つには、どのような表現をしたら良いのでしょうかね。

他にも、オーストリアの赤十字が作成した手洗い歌などの、コロナウイルス対策を楽しく行うためのアイデアがあります。



赤十字の手洗いの歌は、「フロリンとおうち時間」でも紹介しました!



9月からは、感染のリスクを分かりやすく伝えるために、リスクを緑、黄色、オレンジ、赤で表現する「コロナ信号」が使われています。毎週金曜日に発表されます。

## ドイツ語コーナー：間違えやすいジェスチャー



コミュニケーションをとる時、完璧な言葉よりもジェスチャーが役に立ちます。ドイツ語にも、独特なジェスチャーがあります。まずは、「○」と「×」を見てみましょう。片手の「○」（オーケー）の印はオーストリアで「完璧」の意味なので通じますが、両腕のバージョンは通じません。同意を表現したいときは、うなずきや、片手の親指をだす「いいね」のジェスチャーなども使えます。「×」のマークは、ジェスチャーとしては、特に意味を持ちません。「ダメ」を表現したいときは、頭を横に振ったり、右手の人差し指を出して肩の高さで右から左に振ったりします。オーストリアのお母さんが子供を叱る時にも、似たようなジェスチャーを使います。他には、オーストリアの「こっちに来てください」と「あっちに行ってください（どいて）」のジェスチャーは日本とちょっと違います。人を招くときは、手のひらが上向きで、「どいて」の時は、下向きです。招くときには、人差し指だけを使うときもありますが、親しい人へのジェスチャーです。

### ☆ フロリンとおうち時間 ☆

ユーチューブでオーストリアの文化、簡単な小物づくりやレシピを紹介しています。

ぜひ、ご覧ください。

<https://www.youtube.com/user/nasushiobaracity>



那須塩原市動画チャンネル

## 那須塩原・リンツ

### あの人：アウホフ校の先生たち

「那須塩原市中学生海外交流事業」として、毎年、市内の中学生とリンツ市の学生が交流をしています。残念ですが、2020年の交流事業はコロナの影響で実施できません。毎年、交流事業に参加している、リンツ市のヨーロッパギムナジウム・アウホフ校の二人の先生が交流事業に参加した時の経験やリンツ市の状況などについて教えてくださいました。



名字：アウマイヤー

名前：エヴェリン

出身：ハースラハ市

(現在は、リンツ市在住)

職業：先生

モットー：全ての日に、自分の人生の一番美しい日になる可能性があるから、毎日  
にそのチャンスを与えるべきだ (マーク・トウェイン)

„果てしなく楽しかったです。“

#### 交流事業の経験について：

**アウマイヤー先生：**2017年に縁があって日本との交流に参加するようになりました。2人の留学生のホームステイ先がまだ決まっていなかったからです。あまりためらわずに、家族で2人を受け入れることを決めました。その判断はとても良かったです。果てしなく楽しかったからです。その時に、交流事業に少しでも協力しようと決心しました。

**ユングバウアー先生：**2012年に、ヨーロッパギムナジウム・アウホフ校で先生として働き始めることができ、とても嬉しかったです。同校で日本の那須塩原市との交流事業があることを知り、さらに嬉しかったです。すぐに、交流事業をボランティアで支援させてほしいと手をあげました。その次の年から、担当をさせていただくようになりました。

#### コロナ対策と学校生活について：

**アウマイヤー先生：**新型コロナウイルスのため、3月上旬の時に、急に自宅学習に変えなければならませんでした。急に、直接の連絡やコミュニケーションができなくなったので、先生たちだけではなく、生徒にとっても大きなチャレンジでした。だからこそ、マスク着用、手の消毒や小さいグループでの授業実施などの厳しいコロナ対策を行いつつながらですが、5月中旬から改めて登校ができるようになり、学校生活が送れることにさらに感謝するようになりました。

**ユングバウアー先生：**コロナで色々と生活が変わりました。距離を保つことやマスクの着用などは、先生も生徒も慣れる必要があるものです。子どもにとっては、ソーシャルディスタンスを守ることが特に難しいです。たくさんの授業の指導案は、変更せざるを得ませんでした。例えば、チームワークや社会的な能力を向上させるグループワークは実施できません。今は、できるだけ気軽で効果のある勉強ができるように、みんなで頑張っています。



名字：ユングバウアー

名前：ユリア

出身：シュタイヤー市

(現在は、リンツ市在住)

職業：先生

モットー：人生を一生懸命に楽しもう

## 那須塩原・リンツ

### 今後行ってみたいこと・アイデア・意見について：

**アウマイヤー先生：** 私は、ワクチンができ、できるだけ早く交流できることを期待し、前向きな考え方をしています。今の困難な時代には、SNS を活用すれば連絡を取ることができるので、いいものですね。

**ユングバウアー先生：** 近い将来、ある程度の普通の生活、そして心おきなく私たちの大切な交流が続けられる生活に戻るように願っています。



市内中学生との日光遠足



アウホフ校の生徒の那須塩原市長表敬訪問

## 生き生きとした姉妹都市関係



英語で司会を行う  
東那須野中学校の生徒

### 2020年8月25日： オーストリアのパラリンピアンとの オンライン交流事業

2020年の東京オリンピック・パラリンピックは延期となりましたが、那須塩原市はホストタウン事業に積極的に取り組んでいます。直接会えない中、選手を応援するため、那須塩原市スポーツ振興課が Zoom アプリで、市内の小・中学生

とオーストリアのパラ選手との交流会を計画しました。パラ自転車の選手とパラ水泳の選手、全8人が参加する予定です。

8月25日の第一回目の交流会は、東那須野中学校で行われました。オーストリアのパラ水泳選手のアンドレアス・オネア選手のほかに、スペシャルゲストの橋本大臣と渡辺市長にも参加していただきました！生徒の皆さんが英語でのコミュニケーションにチャレンジし、楽しく素晴らしい交流ができました！今後も、引き続き交流会を開催し、絆を深めていきたいと思ひます。



上から：橋本大臣、  
オネア選手、渡辺市長



Q:

オーストリアで食べられていない  
野生動物はどれですか。

A: 鹿

B: うさぎ

C: イノシシ

D: 熊

答えは4ページ

## 那須塩原・リンツ

### 作ってみましょう！ ☆ シュールテューテ

オーストリアの小学校の一年生は、9月上旬に初めて小学校に通う日に、親から「シュールテューテ」をもらいます。中には、学校で使える文房具やお菓子が入っています。

**準備品：**B4サイズの厚い色紙1枚、お花紙2~3枚、リボン、のり、ハサミ、定規（やコンパス）、シール、中に入れるもの（お菓子など）

**手順：**色紙の短辺に2~3cmののりしろをつくります。長辺をコンパスや定規で短辺と同じ長さをはかって、曲線を引きます。曲線に沿って切ります。切った色紙を裏返して、好きなシールをつけます。のりしろにのりをつけて、アイスクリームのコーンのような形になるように、のりしろの線に合わせてくっつけます。のりが乾燥するまで待ちます。コーンの上の縁にのりをぬって、お花紙をつけます。中にお菓子や文房具を入れて、リボンを結んで、出来上がりです！



### 地方 ニュース

## 緑のシュタイヤマルク州



シュタイヤマルク州は、オーストリアの中心にあります。州都のグラーツ市は、オーストリアで2番目に人口が多い都市であり、昔の町並みはとても素敵です！シュタイヤマルク州は、森林がたくさんあるので、「緑の州」や「オーストリアの緑の心」と呼ばれています。農業が盛んです。名物は、「緑の黄金」です。「緑の黄金」は、濃い緑色のカボチャの種の油のことです。オーストリアでは、大切に高級なものをよく、宝に例えて「黄金」と言います。シュタイヤはカボチャの産地なので、カボチャとカボチャの種を使ったスープ、サラダやケーキなどのレシピがたくさんあります。リンゴも有名です。オーストリアのリンゴは、日本のものより酸味があります。大きさも小さいので、学校のお弁当にリンゴを丸ごと一個入れて、そのまま食べることがよくあります。リンゴは長持ちするので、昔は冬によく食べました。有名な「アップフェルシュトゥルデー」のケーキなど、リンゴを使ったデザートがおいしいです。リンゴ園の見学やリンゴを使った食品を試食できる、25kmの「リンゴ街道」もあります！



州：シュタイヤマルク州 (Steiermark) ♥ 州都：グラーツ市 (Graz)  
♥ 人口：約 1,246,395 人 ♥ 面積：約 16,399 km<sup>2</sup> ♥

発行：那須塩原市役所企画部秘書課都市交流係（担当：フロレンティーネ・ロンニガー）

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108-2

TEL: 0287-62-7324 FAX: 0287-63-1240

Eメール：[hisho@city.nasushiobara.lg.jp](mailto:hisho@city.nasushiobara.lg.jp)



HP: [www.city.nasushiobara.lg.jp/03/3740.html](http://www.city.nasushiobara.lg.jp/03/3740.html)

(バックナンバー・ドイツ語・英語編)

検索 那須塩原市姉妹都市ニュースレター



クイズの答え：D。  
オーストリアでは、  
リンゴ園の見学や  
リンゴを使った食品  
を試食できる、  
25kmの「リンゴ街道」  
もあります！